

| | | | |
|-----------|----------------|------|---|
| 講義名 | 中国語リスニング【GSP用】 | | |
| 科目区分 | グローバル展開 | | |
| 担当教員 | 関 梅 | | |
| 開講期・曜日・時限 | 後期 火曜日 2時限 | 授業形態 | |
| 履修開始年次 | 2年生 | 単位数 | 2 |
| | | 備考 | |

主題と概要

この科目はGSPクラスの中国語A/Bで習い終えた者を対象とする。この科目の狙いは中国語の「読む、書く、聞く、話す」の中の「聞く、話す」に重点を置き、リスニングの力を伸ばしていくことである。
この授業では、中国語の語彙、短文の音読トレーニングをし、ディクテーションのトレーニングも行う。さらにHSK3級レベルのリスニングのトレーニングも行う予定をしている。

到達目標

中国語検定試験3級・HSK3級レベル
①簡単な会話の聞き取りができる。
②長文のディクテーションの完成ができ、内容を理解する。
③長文の音声を聞き、概要が理解できる
④長文の音読ができる。

提出課題

毎回のリスニングのトレーニングを受けた結果の提出を求める。
また、毎回の授業でHSK試験に必要な単語テストの結果も提出してもらおう。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

前回のリスニングの結果を講評し、できなかった原因を分析する。
また、単語テストの結果から見た弱いところを新たに理解してもらい、再テストをする。

評価の基準

平常点（出席、提出物、小テストなど）30％
中間テスト 30％
期末テスト 40％
なお、原則として1/3以上欠席した場合は失格とします。遅刻3回で1回の欠席にカウントします。

履修にあたっての注意・助言他

語学の授業は実践的なものなので活発な取り組みを期待します。授業中の積極的態は大いに評価する。
更に授業外の予習復習は欠かせないため、怠ることなく努力してほしい。

| |
|-------------|
| 教科書 |
| . プリント教材使用。 |
| |
| |
| |
| |

プリント資料及び参考文献

授業計画

1. ウォーミングアップ・学力レベルチェック
2. 音読・リスニングⅠ
3. 復習・ディクテーションⅠ
4. 復習・音読・リスニングⅡ
5. 復習・ディクテーションⅡ
6. 復習・音読・リスニングⅢ
7. 復習・ディクレーションⅢ
8. 中間まとめ&テスト
9. HSKリスニングトレーニングⅠ
10. HSKリスニングトレーニングⅡ
11. HSKリスニングトレーニングⅢ
12. HSKリスニングトレーニングⅣ
13. HSKリスニングトレーニングⅤ
14. HSKリスニングトレーニングⅥ
15. 模擬テスト&解説

| | |
|--------------------------|--|
| 授業形態（アクティブ・ラーニング） | |
| | ア：PBL（課題解決型学習） |
| <input type="radio"/> | イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） |
| | ウ：ディスカッション、ディベート |
| | エ：グループワーク |
| | オ：プレゼンテーション |
| | カ：実習、フィールドワーク |

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

リスニングのレベルアップは授業外での努力は欠かせないため、毎回の授業の後にMoodleにアップした音声ファイルを聞くことは宿題となっている。
また、HSK試験に必要な単語及びフレーズの小テストを順次行っていくので、そのための勉強時間も確保しなければならない。
毎日の学習時間は1時間以上が必要。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

本講義では基本的にICT活用をして授業を進めていく。
具体的には、アクティブ教室で講義を行い、音声はiPadとコードレススピーカーを使用する。
リスニングの内容や文法説明については教室にあるプロジェクターを利用する。
宿題としてのリスニングの音声ファイルの配布はMoodleを使用する。

実務経験の有無及び活用

備考

受講者の習得状況に応じて授業の進度を調整する。